

1.29 カラスとの戦い これで終結？

1月29日、県立境港総合技術高校の機械科3年の生徒が、実習で作成したカラス等の被害を防げる「ごみストッカー」を高松町自治会にプレゼントしました。

「ごみストッカー」を地域に贈るのはこれで、3回目。

ごみ集積場を利用している近所の人が見守る中、車から運び出し、設置作業をする生徒の顔はどこか誇らしげ。

地域とのかかわりを大切にする同校の取り組みは、学校と地域の距離をまた一步縮めてくれました。



2.4 大人になったら選挙に行くよ

2月4日、外江小学校で選挙出前講座が行われました。この講座は、若年層の政治的無関心や選挙離れが指摘されていることから、県の選挙管理委員会事務局が平成19年度から県内の学校で実施しています。外江小学校は、6校目で市内では初めてです。

クイズや選挙の投開票に使う器具をさわったりして、授業で学んだ知識をより身近に感じていました。

講師のアシスタントを務めた「めいすいくん」は、大人気で講座が終わっても児童と触れ合っていました。

2.6 「くれぱす」で「チョコケーキ」

2月6日、お菓子屋くれぱすで、第一中学校の母親委員会（小・中学生を含む20人）が、「くれぱす」利用者とともに、チョコレートケーキ作りを楽しみ、交流を深めました。はじめに作り方の説明を受けたものの緊張からなかなか手が出せなかったけれど、だんだん打ち解け役割分担もスムーズに。

途中失敗もあったけど出来上がったのはクリームたっぷりの見事なケーキ。もちろん味もバッチリ。

参加者全員の目とお腹、心が大満足なひと時でした。



2.12 「さすまた」で犯人確保！

2月12日、市防犯協議会は、防犯対策に役立ててもらおうと市内の小・中・高等学校に「さすまた」を贈呈しました。これは、境港警察署員が不審者対応訓練のため、小学校に出向いた際に発案したもの。

贈呈式に続く「使い方指導」では、犯人を効果的に捕らえる方法を実践しながらに披露。取り押さえられた犯人役が悲鳴をあげる場面も。

でも、「さすまた」の「出番」のないことが一番。平和な学校生活を送られることを祈りました。